調達管理番号・案件名
26a00669_アフリカ地域(広域)地域密着型灌漑のアフリカ広域展開情報収集・確認調査フェーズ3(QCBS-ランプサム型)

質問と回答は以下のとおりです。

2026年10月20日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	11	第3条　調査実施の留意事項　5. コンセプトノートの作成	コンセプトノートの作成の対象国については、8ページの「第3条　調査実施の留意事項　1. 本調査の流れ　①」において指定のある新規対象国4か国ということでよろしいでしょうか。 (既存対象4か国については対象外と理解してよろしいでしょうか)	コンセプトノート作成の対象国は、新規対象国4か国としてご検討ください。
2	13	第3条　調査実施の留意事項　8. 拠点機能形成の可能性及び域内における技術移転の試行	拠点機能形成を行う候補国(ガーナ、タンザニア)に、他国の普及員2名を派遣し、現地実習を行うとありますが、航空賃、日当、宿泊費、査証代、保険料は、見積(一般業務費)に含める必要はありますでしょうか。 また、実習型研修を試行的に実施する予定である候補国(ガーナ、タンザニア)のCP機関職員への交通費、日当、宿泊費は、見積(一般業務費)に含める必要はありますでしょうか。見積もる必要がある場合、単価の基準はありますでしょうか。	普及員2名の実習型実地研修に係る航空券等(日当、宿泊費、査証代、保険料)の金額は見積に含めてご検討ください。 また、受入国側CPが本研修に同行することは必要とは考えていません。また本研修は第4条5. に記載の既存対象国のフォローアップと合わせて開催することを想定しており、講師等の追加費用は、発生しない想定ですが、日当等が追加で発生すると考える場合は、見積に含めてご検討ください。 なお、ガーナは宿泊費20,000円、宿泊手当3,600円、タンザニアは宿泊費16,000円、宿泊手当3,600円を上限として見込んでいます。
3	16	第4条　調査の内容　3. 実証事業の準備及び実施	実証事業の現地活動において、各国CP機関職員への交通費、日当、宿泊費は、見積(一般業務費)に含める必要はありますでしょうか。見積もる必要がある場合、単価の基準はありますでしょうか。	実証事業に関して、各国の制度や実証を行うサイトまでの距離等により異なることが想定されるため、対象国政府のカウンターパートに係る交通費及び宿泊費・日当は受注者側による負担は想定していません。ただし、業務開始後、調査対象国が決定したのちに別途検討し、業務での計上が必要であれば契約変更での対応を検討することとします。

以上